

MS-50G Effect Manager

ユーザーズガイド (Windows)

Copyright(C) 2017 ZOOM Corporation. All Rights Reserved.

● 本ソフトウェアを使用したことによる損害、または第三者からのいかなる請求についても (株)ズームは一切の責任を負いません。また、本ソフトウェアの無断配布/販売/リース/レンタル/改変/リバースエンジニアリングを禁止いたします。ソフトウェアの仕様および本ドキュメントの内容は将来予告なしに変更する場合があります。

Windows® は Microsoft® 社の商標または登録商標です。

*文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

*文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

本マニュアルに記載してある説明図は、実際の画面と異なることがあります。

目次

1. はじめに	2
2. 動作環境	2
注意事項	2
3. コンピュータに Windows 標準ドライバをインストールする	3
4. エフェクトを書き込む	4

1. はじめに

このたびは、MS-50G Effect Managerをダウンロードいただき誠にありがとうございます。本ドキュメントは、MS-50Gにエフェクトを書き込む方法について説明します。

2. 動作環境

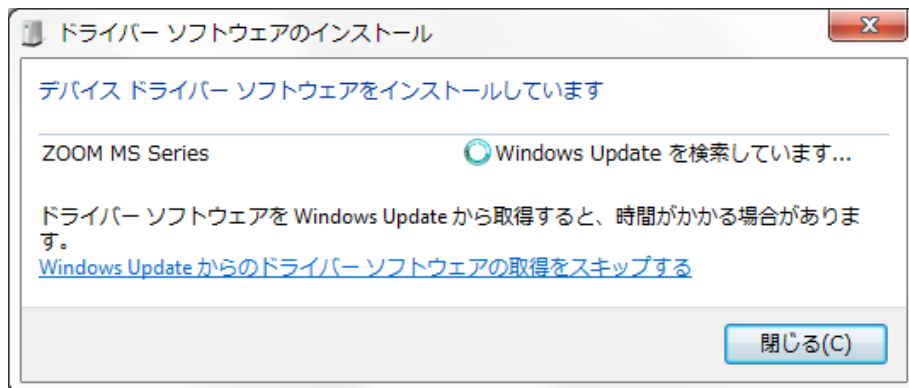
OS : Windows® 7 SP1 以降 (32-bit/64-bit)
Windows® 8.1 (32-bit/64-bit)
Windows® 10 (32-bit/64-bit)

注意事項

- 1) コンピュータには Administrator 権限のアカウントでログインしてください。
- 2) 本アプリケーションを起動する前に、実行中のアプリケーションがあれば、全て終了してください。

3. コンピュータに Windows 標準ドライバをインストールする

MS-50G をコンピュータと USB ケーブルで接続します。前回 Windows 標準ドライバをインストールした際に使用した USB ポートと別のポートを使用した場合に「ドライバーソフトウェアのインストール」が表示されます。

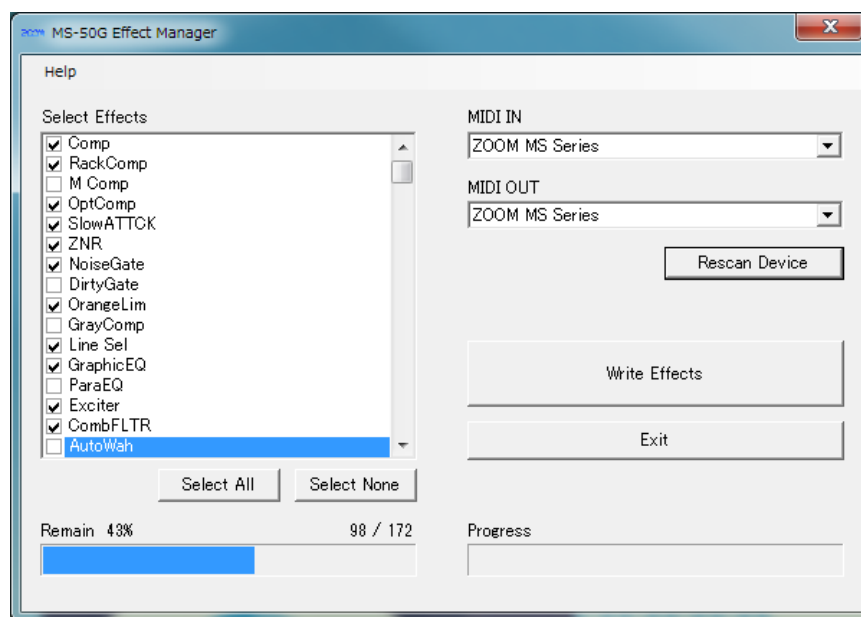


暫くすると標準ドライバのインストールが完了します。

4. エフェクトを書き込む

4.1. MS-50G とコンピュータを USB ケーブルで接続します。

4.2. MS-50G Effect Manager のアイコンをダブルクリックし、起動してください。起動すると、以下のようなウィンドウが表示されます。



4.3. MIDI IN、MIDI OUT の欄に、共に“ZOOM MS Series”と表示されていることを確認してください。

もし、この欄に何も表示されない場合は、[Rescan Device] ボタンを押してください。

4.4. Select Effects にエフェクトの一覧が表示されます。

一覧の中の項目をクリックすることで、選択状態を変更することができます。

チェックを付けた項目を書き込みます。

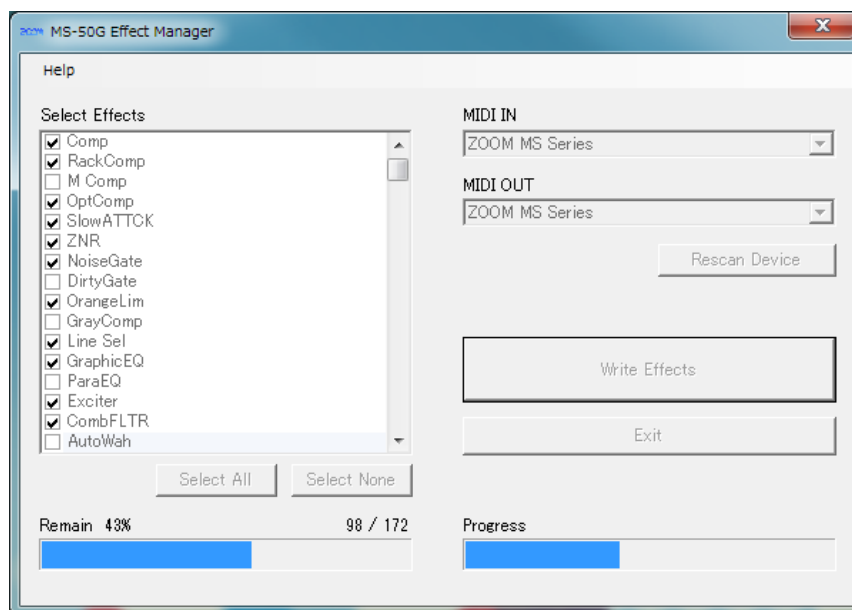
※[Select All]ボタンを押すことで、Select Effects の全項目にチェックを付けます。

また、 [Select None]ボタンを押すことで、Select Effects の全項目のチェックを外します。

※Remain のバーが赤く表示された場合は、書き込み容量の上限を超えています。

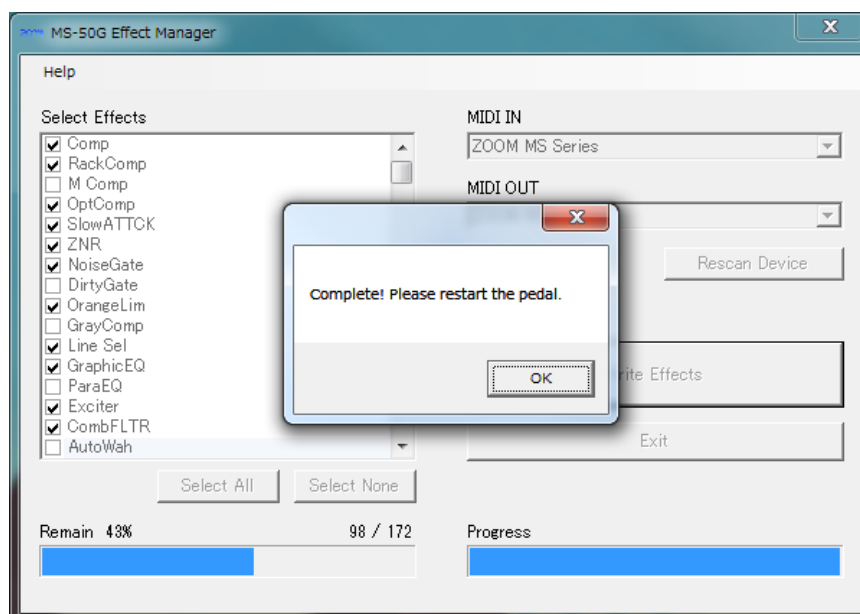
上限を超えないようにエフェクトを選択してください。

- 4.5. エフェクトの書き込みを実行するには、[Write Effects]ボタンを押してください。
エフェクトの書き込み中は、以下のようにウィンドウ右下に進捗状態が表示されます。



エフェクトの書き込み中は USB ケーブルを抜かないでください。

- 4.6. エフェクトの書き込みが完了すると、以下のように表示されます。



[OK]ボタン、[Exit]ボタンの順に押し、MS-50G Effect Manager を終了させてください。その後、MS-50G の電源を切ってください。

4.7. 再度 MS-50G の電源を入れて、書き込んだエフェクトが選択できることを確認してください。

以上でエフェクトの書き込みは完了です。

©2017 ZOOM CORPORATION Z2I-2919-01